



2019年4月25日

各 位

会 社 名 ダイワボウホールディングス株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 野上 義博
 (コード番号 3107 東証 第1部)
問 合 せ 先 財務管理室長 堀川 泰伸
 (TEL 06-6281-2404)

業績予想および配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2019年4月25日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2018年11月2日に公表した業績予想および2018年5月11日に公表した配当予想について、下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2019年3月期通期連結業績予想数値の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 743,000	百万円 18,800	百万円 18,800	百万円 11,600	円 銭 603.23
今回修正予想 (B)	785,000	22,700	22,800	16,700	868.44
増 減 額 (B - A)	42,000	3,900	4,000	5,100	—
増 減 率 (%)	5.7	20.7	21.3	44.0	—
(ご参考) 前期実績 (2018年3月期)	669,596	14,305	14,291	10,531	548.72

(2) 修正の理由

通期の業績予想につきましては、ITインフラ流通事業において、IT投資が底堅く推移しWindows 7サポート終了を控え更新需要が高まるなか、下半期以降さらに、主力のパソコン販売について、地域密着型営業の推進や顧客ニーズを踏まえた周辺機器やソフトウェアを含めた複合提案が功を奏し、企業向けや官公庁向けの販売が大幅に増加した結果、売上高・営業利益・経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益は前回予想を上回る見込みです。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

	年 間 配 当 金		
	第2四半期末	期 末	合 計
前 回 予 想 (2018年5月11日発表)	—	130円00銭	130円00銭
今 回 修 正 予 想	—	200円00銭 (普通配当 160円00銭) (記念配当 40円00銭)	200円00銭 (普通配当 160円00銭) (記念配当 40円00銭)
当 期 実 績	0円00銭	—	—
前 期 実 績 (2018年3月期)	0円00銭	130円00銭	130円00銭

(2) 修正の理由

当社は従来から利益配当を経営の重要課題として位置付けており、業績に応じて内部留保資金の確保を図りながら、継続的かつ安定的な利益還元を行うことを基本方針としております。この基本方針のもと、事業基盤の確立と安定収益体制の構築に努めた結果、通期の業績見通しは当初の予想を上回る見込みとなりましたので、1株当たり期末配当金（普通配当）をこれまで予想していた130円から30円増配し、1株当たり160円に修正いたします。

また、当社はダイワボウホールディングス株式会社に商号変更を行い、新たな経営体制を発足させ、本年7月に10周年を迎えます。加えて、持株会社を中心としたグループ経営を推進し事業競争力の強化を図った結果、当期の業績は過去最高の売上・利益となる見通しであります。これもひとえに株主の皆様をはじめ関係各位の温かいご支援の賜物と心より御礼申しあげます。

つきましては、株主の皆様へ感謝の意を表するため、1株当たり40円の記念配当を実施することといたしました。

これにより期末配当金は、1株当たり200円（普通配当160円、記念配当40円）とさせていただきます。

なお、本件は2019年6月開催予定の第109回定時株主総会に付議する予定であります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の配当金額は、今後様々な要因により予想数値と異なることがあります。

以 上